

# 迷い人の搜索模擬訓練

「やってみたい」と思う人が集まったら運営のお手伝いをします。  
町内会やサロンでの取り組みも応援します。

出前講演なども行なっておりますので、お気軽にご相談ください。



## わたしたちの取り組み

### 取組風景

#### 手順

##### ①連絡

下記連絡先に「**支えよう体験をやってみよう**」と電話をしてください。

##### ②打合せ

**「新しい生活様式」に則った運営手法**をご一緒に！！

※地域の実情・イメージの共有・開催に向けての必要な準備について

＜例＞・課題の整理と目標設定

・事前学習会の実施（認知症についての介護・福祉・行政の支援のしくみ、本人支援とは？他地域の事例紹介、声のかけ方等）

・準備会議の運営（役割分担・準備するもの・当日の流れ・参加者設定・広報等）

##### ③開催日決定

##### ④開催・総括

##### ⑤それから

皆さんそれぞれのストーリーを進めて下さい。

※小・中学生向けのプログラムもあります。ご相談ください。

〈連絡先〉

**北九州市 認知症支援・介護予防センター**

〒802-8560 北九州市小倉北区馬借1-7-1

総合保健福祉センター(アシスト内)

TEL.093-522-8765 FAX.093-522-8773

### 認知症と思われる人への声のかけ方

- 1mくらいの距離を保つ。
- 相手の目線に入ってから話す。  
(視界が狭くなっているため、目の高さを合わせる)
- ゆっくり話す。
- 「何が」「どうした」という2語文を繰り返す。
  - ×「服を着替えて日傘を持ってでかけますよ。」
  - ①「この服に着替えてください。」
  - ②（服を着替えたら）「日傘を持ってください。」
  - ③（日傘を持ったら）「さあ、でかけましょう。」



各地の  
模擬訓練



### 取組内容

「認知症になっても、一人で安心して出掛けられるまちをつくること」を目的に、市民の皆さんが地域の実情に応じて、さまざまな形で自主運営しています。行政は事前研修や他地域の取り組み事例をお伝えする支援をしています。

地域の中にいる迷い人役の方を探す従来のスタイルに加えて、声のかけ方に特化して室内で行う形での実施も増えてきました。

LINEを活用した「地域連絡網の整備」から、迷っても生還できるように位置情報の送受信を学生と共に学ぶ取り組みも始まりました。

令和5年6月14日には「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立しました。認知症の人の基本的人権に配慮した共生社会の模擬訓練が求められています。

### 取組への思い

地域の皆さんが熱い思いで活動してくださっているのを本当に嬉しく頼もしく思っています。

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/28000354.html>

